



みんなで考え、みんなで決めて、みんなで作る

# 絆の里いちき

発行：絆の里いちき  
令和7年3月15日

NO.9

## 冬～春の地域連携の活動報告

やっと寒さも和らぎ始めました。絆の里いちきは3年目の事業を終えようとしています。今年度、柱松は実施することができませんでしたが、小学校とのつながりでいくつかの試みを実施することができ、新しい気づきになりました。



11/15水

### 市木神社秋祭り地区社協バザー

市木神社の秋祭りは地区の行事として続いてきました。お祭りを盛り上げたいと地区社協が声をかけ始めたバザーです。ところが市木公民館が地震後、使用不可になったことから会場の変更が余儀なくされ小学校の体育館で開催されました。体育館で保育園を含めて子供たちの発表も観覧でき、和やかな会場となりました。

それに加え、JA婦人部がふくれ菓子や草餅を出品し、懐かしい味を皆さん競って購入していました。



11/30土

### サロン大会

市木地区サロン大会も公民館が使えないため、旧中学校の体育館を会場とし、開催されました。新しい会場となると、駐車場のこと、トイレの状況など、新たに確認も必要でした。会場に十分なスペースがあったため、みなさんにパイプ椅子を準備することができました。競技後、採点結果を待つ間、参加者みんなで大きな輪をつくって踊ったり、いきいき体操教室で行っている串間音頭を椅子に座ったままぶっつけ本番でやったりしました。



1/19日

## まちづくり協議会「チーム本城」視察

身近なところの活動を視察したい、ということで「チーム本城」を訪れました。本城地区内にできた「ごんべいルーム」を見せていただいた後、公民館に戻って、河野事務局長より、これまでの活動の様子を聞きました。みなさんの一生懸命さに感化された貴重な機会となりました。



## 参加者感想より(抜粋)

- 地区と地区が連携し、問題意識を共有して、これからの地域の活性化に取り組んでいけそうな、そんな希望が持てた視察になりました。
- つづく思うのは戦後の昭和20、30年代を経験した年代の人達から昔の暮らしの様子を聴くことがとても大事だと思いました。
- そして、やっぱり、地域では特に、一人一人がバラバラにいろいろやるよりも、丁寧に繋がって、違いを楽しみながら協力出来る事で、一人一人の力が更に活かされて、色々なことが出来る。と確信しました。
- 小学校と親密な関係性を保っているイベントに小学生が参加しているのが、いいなと思いました。



2/6木

## 市木小学校 PTA 家庭教育学級

小学校の家庭教育学級で「祭りをもっと知ろう」ということで、柱松で使う松明作りを取り上げました。実際、毎年松明を準備している河野さんの指導で、5、6年生が親や地域の人たちと松明作りに挑戦しました。

そんな中、校長先生の発案で市木にもみんなで踊れる音頭を作ってみよう、ということになり、市木に縁のある人が作曲し、児童からアンケートをして集めた「市木にまつわる言葉」をPTA役員他有志がつなぎ合わせるといふ離れ業で「市木ふるさと音頭」が完成しました。

日本舞踊教室を開いている島田愛子さんが、地域の人たちから笹踊りや盆踊りの情報を得ながら振付をし、小学校の児童、親、先生そして地域の人たちで踊りの輪ができました。UMKのニュースにも取り上げられました。



2/23土

## グランドゴルフ大会

7人の子もたちが参加がありました。

曇り空の寒い日でしたが、みなさんいつも通り、パワー全開!



絆の里いちき事務局 (串間市役所市木支所内 担当: 佐藤明子)

TEL: 0987-71-5011 FAX: 0987-71-5012